

# 雲心月性

大槻ワールドへようこそ



Camnet マガジンをお楽しみにの皆様。マガジン版「雲心月性」です。大槻は岡山県真庭郡新庄村の内科診療所で一人医師として勤める5度目の春です。穏やかな日常の中で、音楽や自然と向き合いながら、過行く時を楽しんでいます。

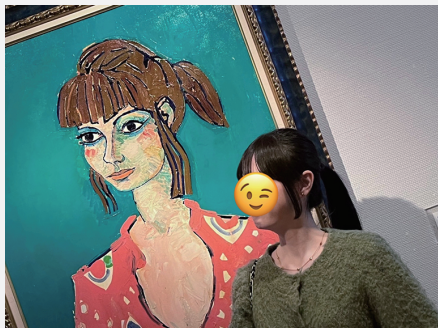
このコラムは二か月分なのでリアルタイムな様子ではなく、一年前の3～4月の様子をお伝えします。



3月には降雪もあります。冷え込む朝の木々が美しい。



真庭市勝山の文化往来館「ひしお」にて知己のバンドのサポートと共にソロパートでオリジナル曲。



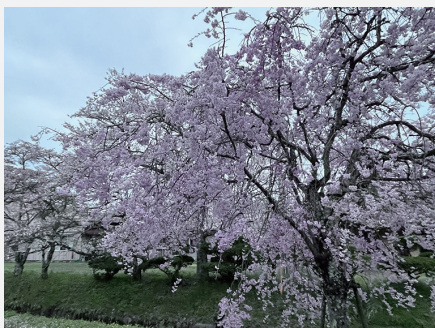
3月下旬家族で尾道日帰り旅。なかた美術館にて、なんと絵画と髪型同様な娘。ポール・アイズピリのコレクションです。



4月初旬のがいせん桜通り…満開で多くの人たち。



2024年にはがいせん桜通り……三日間ほどライトアップ夜桜も。



がいせん桜が少し散り始めると職場裏手の枝垂れ桜が満開です。



4月末には総社市のふるさとふれあい広場でグリーンライブ。Lu Ca & UG で出演しました。



そして職場の中庭…花壇には鈴蘭の可憐な花。

さて、オリジナル曲の歌詞紹介。「春の恋人たち」は、大槻の作詞作曲です。サブスクなどではリリースしていませんが、ネットラジオ「雲心月性」でリンク企画として、3、4月にそれぞれ別バージョンでピアノ弾き語りをする予定です。

つばの広い帽子に 白い花飾り  
青い風がミディの 裾で ひと休み  
さくらんぼ色の唇 春のオルゴール  
可愛らしいえくぼに 踊る 光たち

そんな 君が 見えてても  
そこへ 駆けて ゆけないよ  
ねえ どうして だから  
早く 君の そばへ

おとぎ話 聞かせて 心ときめかせ  
春の花の香りに ひとり 浮かれる  
眩しすぎる 素肌も 空に溶け出して  
翼はためかせたら 愛の妖精さ

そんな 君が 見えてても  
そこへ 駆けて ゆけないよ  
ねえ どうして だから  
早く 君の そばへ

♪オリジナルCD  
プレゼントします！  
詳しくは  
プレゼントコーナーで

二か月分のコラムですので、時事的な話題は避けてしまっていますが、国際平和や、天災からの復興を祈念しています。

## プロフィール 大槻 剛巳 (おおつき たけみ)

- 1956年:京都市福知山市生まれ
- 1970年:京都府陸上競技大会100mハードル2位・KBS近畿放送AMラジオでリスナーの歌詞採用
- 1972&75年:NHKあなたのメロディー出演
- 1974年:YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出場
- 1977年:YAMAHA神戸との連携で楽曲制作依頼
- 1981～2021年:川崎医科大学血液内科～衛生学
- 1992～1996年:米国留学(ミネソタ大学&NIH)
- 1997&2024年:岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作・準佳作で「岡山の文学」に掲載
- 2009年:Camnetラジオ:パーソナリティ開始
- 2011年:Camnetマガジン:連載開始
- 2014年:サブスクにて自作自演アルバムリリース開始
- 2021年:新庄村診療所所長(現職)